

# ふくろいスマイル座談会 ③今井地区

【開催概要】 総合計画及び都市計画マスタープラン策定のために、地域の未来について、大場市長と住民との意見交換を行う「ふくろいスマイル座談会 今井地区」を以下の通り開催しました。

日時	令和6年9月14日(土)19時～20時40分
場所	今井コミュニティセンター【参加人数:30人】
内容	1 開会 2 まちづくり協議会/会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 (1)袋井市総合計画策定の進め方について (2)袋井市都市計画マスタープランの見直しについて (3)地区まちづくり協議会における「活動方針」の策定について (4)質疑応答 5 意見交換「袋井の未来のコト」や「地域の将来のコト」など 6 閉会



## 「ご意見・ご提案」用紙から

- シニアクラブの結成を指示してほしい。
- アパートの住民に対する防災対策について市の考えを教えてください。
- タブレット学習を利用した、不登校児童へのリモート学習指導はできないか。
- プラスチックの回収を増やせないか。
- 袋井中学の通学路で信号がなく危険な箇所を解消してほしい。
- 第2次総合計画の総括をしっかりとやる。
- 自治会役員・民生委員の引き受け手がない。自治会内だけでは解決できない。
- 市全体を俯瞰した計画づくり、耕作放棄地対策、内水氾濫を想定した治水対策をお願いしたい。
- 袋井をにぎやかに、今井にもにぎやかなプランを…今井地区全屋台が深見橋の上に集合したらどうでしょうか。

## ●当日の意見交換の主な内容（※現総合計画の「政策」分野ごとに整理しました）

### 快適で魅力あるまち

- コミュニティセンターを起点とした新しいモビリティを運行してはどうか。  
⇒市内はバスやデマンドタクシーをはじめ、数種類の交通を導入している。日本版ライドシェアといった制度もできており、法制度の変更も見据えつつ、新しい地域公共交通を検討していきたい。

### 市民がいきいきと活躍するまち

- 静岡理科大学の市民講座は有意義な講座であり、継続してほしい。長時間の講座として、可能なら学位につながるとよい。  
⇒リスニングやリカレントなどが近年は話題となっている。地域ニーズを探り、地域の学びの場とし提供できないかを、静岡理科大学と相談していきたい。

### 健康長寿で暮らしを楽しむまち

- 少子高齢化が進展している。医療費や介護費などはうまくいっているのか。  
⇒健康寿命を延ばす取り組みを進めており、また、介護状態になっても安心して暮らせる状況を目指している。聖隷袋井市民病院に総合健康センターを併設し、家庭医療との連携のあり方なども検討しており、所得の多寡に関わらず、安心して暮らせる取り組みを進めていきたい。

### 子どもがすこやかに育つまち

- 掛川市では小学生に起業体験をさせている。袋井市でもできないか。  
⇒次世代の育成に向けた活動としてよいと思う。そのような活動が袋井でもできればと思う。
- 市PTA連絡協議会の事務局を、市の職員が引き受けることはできないか。  
⇒本来、PTAは親、学校、地域が一体となって教育環境を良くしていく活動をするべきと考えている。その事務局を行政が担うのは本来の趣旨ではないと思う。

### 安全・安心に暮らせるまち

- 三川地区の敷地川の氾濫や新屋橋の崩落など市内で収まらない災害がおきている。市外の広域的な災害情報、復旧の情報を入手しやすくできないか。  
⇒市も該当市に問い合わせをして把握している状況。定期的に情報を把握できるものがあれば検討していきたい。
- 開発が進むことにより排水路の増水も懸念される。地区内の水田を活用して田んぼダムを拡げてはどうか。  
⇒田んぼダムの効果はあると思っている。令和4年度から静岡理科大学と連携して研究を進めている。